

広報
函館発

共働通信

第二号

2000年
7月1日

きょうどうつうしん




撮影／函館共働宿泊所救護部正面玄関にて

目次

歴史回廊<第2回>草創期(明治時代).....	2 P
共働調査隊(メルヘン編)・クラブめぐり<第2回>.....	3 P
ほのぼの写真館(思い出がいっぱい!).....	4・5 P
平成11年度<本部会計・施設会計決算書>.....	6 P
平成11年度<事業報告><財産目録>.....	7 P
12年度行事予定表・編集後記・通信欄.....	8 P

社会福祉史研究家平中忠信氏の著「函館における慈善事業」によると、「明治末期から大正にかけて、函館の社会事業の四本柱といえ、鶴岡学校、聖パウロ会、函館慈恵院、そして函館無料宿泊所であった。函館無料宿泊所を創設した仲山與七は、函館慈恵院も創設した人であって、函館の社会事業の創成期には欠かせない人物である。仲山與七については概略ふれると、仲山が函館に渡ってきたのは明治13年4月である。21歳の青年仲山は、人力車夫となって働く（中略）。仲山與七は、安政6年2月18日に秋田県南秋田郡岩城村（現岩城町）の農業仲山六蔵の次男に生まれた。12歳で母を失い、15歳で父親を失い、兄姉と農業に従事する少年期の中で成長した。文明開化の函館で身を立てようと渡道してから、車夫の身となり、やがて努力を重ねて、自ら人力車業を開業するに至った。そのかたわら消防員となって公共の仕事にも協力したので、やがてまじめな働きぶりが認められて消防部長に昇格した。すでに、孤児救済事業を計画していた仲山は、明治20年消防業務で上京した機会をとらえて、東京養老院を調査してきた。この施設は子どもから老人、病弱者等を収容する大きな施設で、仲山は大いに啓発されその後資金をつくるために人力車業のみでなく妓樓を開いて蓄財をこころみた。（中略）仲山與七は、のちに函館の三奇人の一人にされるくらい、がむしゃらに函館の慈善事業に力を注いだ人であった。（後略）」と、記述されている。



は 仲山與七氏

（市立函館図書館所蔵）

函館無料宿泊所
右其節の認可を得五月五日
より開始す洵く大方の御同
情を乞ふ
函館實町廿三番地（元一貫学校跡）
主 唱 仲山與七

大正13年8月2日
函館毎日新聞紙上より

明治43年5月8日
函館毎日新聞紙上より

大正5年刊行「函館無料宿泊所報告」中の「無料宿泊所設立趣旨」で仲山與七氏は、「(省略) 不肖さきに函館慈恵院を創立し其理事として大方の眷顧に興かる事慈に十有余年此の間、明治30年1月より同5月に至る間独立して仲山救護所を設立し労働者貧窮者を函館大森の堤防其の他より収容して之に就職を斡旋し且其の目的地に送還せんが為に旅費を作らせしめたるもの凡て数十名の多きに至れり今又不肖は力を無料宿泊所に用ひて移住者労働者の為に謀りて是が救済の道を尽くさんとするもの素より不肖独力の能くする所にあらず。世運の推移に伴い之等困窮者の数益々多きを加ふ依て社会の諸賢に訴へ賛助を得再び救興の途を開かんと一時仲山救護所を閉鎖し新たに明治43年5月賣町旧一貫学校建物58坪余を買ひ受け諸般の設備を為しさきに壹千余円の資金を投じ函館無料宿泊所並に労働職業紹介所を設置して一面大方慈善家諸士の賛助を得再び之等困窮者救助の途を開きし（後略）」と、述べている。

こうして、明治43年5月5日に仲山與七氏が熱望した救済事業が、新たにその第一歩を踏み出したのである。 - 次号へつづく - （担当 下山）

引用文献 / 平中忠信氏著「函館における慈善事業の考察」78頁より引用
北海道社会福祉史研究会 創刊号 1992/11/14発行

/ 仲山與七氏著「大正5年・函館無料宿泊所報告」中の「無料宿泊所設立趣旨」より引用

/ 函館毎日新聞「明治43年5月8日付及大正13年8月2日付同新聞」

それ行け!

共働調査隊

「おなかをすかせたからくり時計」

日毎に暑さの増してきた6月末日、利用者のよく集まるサロンにからくり時計が飾られた。決められた時間になると、時計の下から二人のハープ奏者が現れ、素敵な演奏を奏してくれ、それと共に時計の針が踊り出すというちょっと夢のあるからくり時計だ。からくりの始まる時間になると、時計の前には人だかりができ、ハープの演奏が終わると「またねー!」と手を振る利用者もいて、今、ちょっとした人気である。

しかし、そのからくり時計が飾られてから、毎晩のように調理室から食べ物がなくなるという事件が起きていた。不思議に思った施設長は、調理室を張り込んだ。張り込みを始めて3時間、ついに何者かが入ってきた!かと思うと、冷蔵庫を開けムシャムシャと中のものを食べ始めた。「今だ!!」施設長が捕まえると、何と、犯人はからくり時計のハープ奏者の二人だった。

次の日、ハープ奏者を面接室に呼び指導員が話を聞くと、ハープ奏者は「時計は電池で動くけれども、ハープを弾いている私達はお腹がすくのよ!利用者みんなが楽しみにしてくれているから、休むこともできないし・・・」と、涙ながらに語った。施設長と指導員は話し合い、これからも利用者の目を楽しませてもらえるよう、利用者が眠りについた夜9時、ハープ奏者二人に食事を差し入れることを約束した。

それ以来、からくり時計のハープ奏者は調理室をあさる事なく、毎日利用者に綺麗な音楽を奏でている。でも、寮母さん気を付けて!食事を忘れると、また悪戯をするかも・・・。

注 このお話は、98%のフィクションと2%の真実で構成されております。お取扱にはくれぐれもご注意ください...! (担当 田中)



「皆さんご覧になりました?あら?まだ見てない!ぜひ一度ご覧下さいませ。その時は、よく作品を見て下さい。ほら、クラブ員の顔が浮かんでくるかもしれませんよ。」



今回紹介するのは、書道クラブです。週二回(木・土)に当施設の食堂で行われます。そのうち一回は、講師を招いて指導を受けています。楽しく練習を行っています。職員三名で、

クラブ



めぐり

第二回
書道クラブ

年一を通じて、練習成果の発表の場が催される「湯川カトリック教会」の展示コーナーへ。二つ目は、郵政省の郵便週間に出展です。この機会により、野趣郵便局長さんのご好意により、頂いておりました。この展示と講師の人物紹介は、新聞紙面で紹介されたことでもあります。

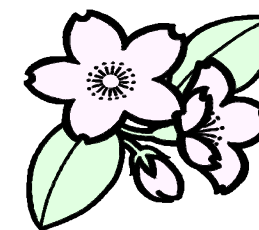
担当
佐藤・大坪



ほのまの写真館

思い出がいっぱい!

担当 内村



花よりダンゴ
だよねっ...



(7種目の中の「輪投げ」の場面)

1月 新春お楽しみゲーム(7種目)大会

(種目:ホリウガ・輪投げ・双六・トランプ
・いろはカルタ・百人一首・宝くじ)



(入所者の年男男女の方々と職員による豆まき)

2月 節分豆まき



でお
す上
ネ手

(器楽クラブの祝賀演奏)

6月 開所記念祝賀会



(喫茶「プランタン」)

3月 お楽しみ模擬店

出
店
一
覧

- ・江戸前/寿司コーナー「亀幸寿し」
- ・本場の味/麺類コーナー「チャイナ亭」
- ・甘党の店/餅コーナー「千草」
- ・北海の香/帆立コーナー「磯乃屋」
- ・日本一/やき鳥コーナー「両国」
- ・南国の香/喫茶コーナー「プランタン」
- ・幸の味/饅頭コーナー「福々堂」
- ・北の風味/帆立たこ焼きコーナー「フレンド」



すいやお
かかきい
?が鳥し
で い

だ
食
へ
こ
ろ
!
!

(やき鳥「両国」)

お楽しみ模擬店は、当施設の伝統行事の一つとして、入所者の皆さんに楽しんで頂くことは元より、地域交流の一環として、日頃お世話になっている地域の皆様やボランティアの方々を、入所者と職員総出でおもてなしいたします。



(会場風景)



(森町・青葉ヶ丘公園にて)

5月 お花見バス旅行



(函館・熱帯植物園にて)

5月 臥床者・市内外観光・ショッピング
(計9回)



優勝

(優勝チーム・タイガースの皆さん)

6月 フットベースボール大会

平成11年度 決算報告

本部会計貸借対照表 (単位千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
01流動資産	21,173	11流動負債	5,330
01現金	0	01經常資金借入金	0
02預金	15,870	02未払金	5,330
03有価証券	0	03未払費用	0
04立替金	0	04仮受金	0
05仮払金	0	05預り金	0
06前渡金	0	06前受収益	0
07前払費用	0	07施設会計借入金	0
08貸付金	0	08特別会計借入金	0
09施設会計貸付金	0	09その他流動負債	0
10特別会計貸付金	0		
11未収金	5,303	12固定負債	0
12その他流動資産	0	01設備資金借入金	0
		13引当金	0
02固定資産	150,276	01退職給与引当金	0
01建物	97,841	02特定引当金	0
02固定資産物品	0		
03土地	34,574	負債合計(A)	5,330
04建設仮勘定	0		
05権利	0	21基金	150,276
06投資有価証券	0	01基本財産基金	108,005
07その他固定資産	17,861	02運用財産基金	42,271
		22積立金	0
		01建設積立金	0
		02固定負債積立金	0
		03その他の積立金	0
		23繰越金	15,843
		01前期繰越金	15,651
		02当期繰越金	192
		純財産合計(B)	166,119
資産合計	171,449	負債・純財産合計(A)+(B)	171,449

本部会計収支計算書 (単位千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
31事務費支出	3,946	41補助金収入	4,670
01役員報酬	0	01地方公共団体補助金収入	700
02職員俸給	0	02公益事業補助金収入	3,970
03職員諸手当	0		
04賃金	0	42寄附金収入	620
05法定福利費	0	01寄附金収入	620
06厚生経費	0		
07退職給与及引当金繰入	3,121	43繰入金収入	1,718
08旅費	64	01特別会計繰入金収入	0
09一般物品費	0	02施設会計繰入金収入	1,718
10固定資産物品費	0		
11印刷製本費	0	44雑収入	3,537
12光熱水費	0	01雑収入	3,537
13燃料費	0		
14会議費	61	45引当金戻入	0
15修繕費	0		
16役務費	53	46設備資金借入金収入	0
17借料損料	9		
18雑費	638	47積立金戻入	0
32元利償還金	0		
01設備資金借入金償還金	0		
02利子	0		
33繰入金支出	700		
01施設会計繰入金支出	700		
02特別会計繰入金支出	0		
34雑支出	18		
01雑支出	18		
02特定引当金繰入	0		
35固定資産取得費	5,689		
01固定資産取得費	5,689		
36積立金繰入	0		
小計(A)	10,353		
37当期繰越金(B)	192		
合計(A)+(B)	10,545	合計	10,545

施設会計貸借対照表 (単位千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
51流動資産	23,849	61流動負債	20,878
01現金	42	01未払金	20,878
02預金	22,770	02未払費用	0
03有価証券	0	03仮受金	0
04立替金	0	04預り金	0
05仮払金	0	05前受収益	0
06前渡金	0	06本部会計借入金	0
07前払費用	0	07その他流動負債	0
08貸付金	0		
09本部会計貸付金	0	62引当金	65,000
10未収金	1,037	01人件費引当金	40,000
11その他流動資産	0	02修繕引当金	25,000
		03備品等購入引当金	0
		負債合計(A)	85,878
		71運用財産基金	41,107
		01運用財産基金	41,107
		72繰越金	2,971
		01前期繰越金	1,979
		02当期繰越金	992
		純財産合計(B)	44,078
資産合計	129,956	負債・純財産合計(A)+(B)	129,956

施設会計収支計算書 (単位千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
81事務費支出	177,394	91措置費収入	276,076
01職員俸給	74,452	01事務費収入	191,569
02職員諸手当	52,893	02事業費収入	84,507
03賃金	7,238		
04法定福利費	15,922	92補助金収入	7
05厚生経費	2,123	01都道府県補助金収入	7
06旅費	1,876	02市町村補助金収入	0
07一般物品費	1,637		
08固定資産物品費	2,468	93利用者負担金	678
09印刷製本費	10	01利用者負担金	678
10光熱水費	363		
11燃料費	356	94寄附金収入	670
12会議費	25	01寄附金収入	670
13修繕費	168		
15役務費	2,988	95繰入金収入	700
16借料損料	707	01本部会計繰入金収入	700
17各所修繕費	10,858	02特別会計繰入金収入	0
18雑費	3,310		
82事業費支出	91,476		
01給食費	46,408	96雑収入	6,449
02保健衛生費	2,693	01雑収入	6,449
03被服費	6,529		
04教養娯楽費	9,577	97引当金戻入	0
05日用品費	3,562		
06本人支給金	4,139		
07光熱水費	4,671		
08燃料費	5,342		
09器具什器費	6,516		
10修繕費	121		
17雑費	1,918		
8301本部会計繰入金支出	1,718		
8401人件費引当金繰入	13,000		
小計(A)	283,588		
85当期繰越金(B)	992		
合計(A)+(B)	284,580	合計	284,580

平成11年度
行事報告

5月
お花見バス旅行
6月
開所記念祝賀会
臥床者市内観光
フットベースボール大会
7月
七夕祭り花火大会
盂蘭盆法要
お盆参り
デパート・ショッピング
8月
盆踊り仮装大会
一泊旅行会
9月
お彼岸参り
二泊旅行会
長寿会(敬老祝賀会)
10月
運動会(救護施設合同)
観楓会バス旅行
11月
誕生祝賀会
12月
クリスマス・パーティー
餅つき大会
年越し祝賀会
1月
新春お楽しみゲーム大会
新春お楽しみ演芸大会
書初め大会
2月
節分豆まき
デパートショッピング
清心書道教室作品発表展
3月
ひな祭り
お楽しみ模擬店
旅芝居観劇会

財産目録

平成12年3月31日現在

(単位千円)

資 産				
基本財産	建 物	詳細は閲覧資料による	73,431	
	土 地	詳細は閲覧資料による	34,573	
	計		108,005	
運用財産	建 物	詳細は閲覧資料による	24,410	
	固定資産物品	詳細は閲覧資料による	41,107	
	他	詳細は閲覧資料による	82,861	
	現 金	(施設会計)	42	
	預 金	(本部会計)	郵便貯金 15,869	38,640
		(施設会計)	銀行預金 6,126 郵便貯金 16,644	
		計	22,770	
	未収金	(本部会計)	補助金収入 3,970 繰入金収入 1,332 事務費戻入 1	6,340
		計	5,303	
		(施設会計)	補助金収入 7 雑収入 544 措置費収入 485	
計		1,036		
計			193,400	
資産合計			301,405	
負 債				
	引当金	(施設会計)	人件費引当金40,000 修繕引当金 25,000	65,000
	未払金	(本部会計)	事務費未払 27 固定資産取得 5,302	26,207
計		5,329		
(施設会計)		事務費未払 7,404 事業費未払 12,052 預り金未払 13 措置費未払 75 繰入金未払 1,332		
計		20,877		
負債合計			91,207	
正味資産額			210,198	

入所者措置状況

平成12年3月31日現在

福祉事務所	函館市	亀田支所	札幌市	旭川市	室蘭市	伊達市	渡島支庁	檜山支庁	後志支庁	胆振支庁	宗谷支庁	その他	計
男	41	4	0	0	0	0	2	2	2	2	1	0	54
女	30	3	2	1	1	1	5	3	4	0	1	0	51
計	71	7	2	1	1	1	7	5	6	2	2	0	105

- ・年間措置人員 1,268名(延べ)
- ・平均年齢 65.6歳 (最年少 36歳、最高年 88歳)

平成12年度 行事予定

5月
お花見バス旅行
臥床者市内外観光

6月
開所記念祝賀会
臥床者市内外観光
臥床者ショッピング
フットベースボール大会

7月
七夕祭り花火大会
盂蘭盆法要
お盆参り
一泊旅行会(B班)

8月
盆踊り大会
デパートショッピング
二泊旅行会(A班)

9月
お彼岸参り
一泊旅行会(C班)
長寿会
三施設合同大運動会

10月
観楓会バス旅行
ドライブ会

11月
誕生祝賀会

12月
クリスマス・パーティー
餅つき大会
年越し祝賀会

1月
新春お楽しみゲーム大会
新春お楽しみ演芸大会
書初め大会

2月
節分豆まき
デパートショッピング

3月
ひな祭り
お楽しみ模擬店

函館共働宿泊所救護部が発行

共働通信

家族との懸け橋に

函館共働宿泊所救護部(東畑町158、越前典洋施設長)は、入所者の家族へ向け「共働通信」(函館新聞)を初めて作成した。施設の歴史や職員紹介、クラブ活動の様子など盛り込んだ。越前施設長は「施設と家族との懸け橋になれば」と期待を寄せている。

同施設は、遺留の福祉の誇り、スポーツなどのさら先駆者と言われる故・仲山一朗氏が1987年に始めた救護所の流れを受け、1990年に開所。最初の消失などの危機を乗り越え、新川町や東畑町へと移転。経て70年に東畑町へ移転。現在、心身に障害があるなどの30代から80代まで100人が職員30人の支援を受け生活している。

冊子作りは、施設についての情報公開をより進めたいとの思いがきっかけ。編集委員は職員で組織する編集委員会が担当。パソコンを駆使し、A4サイズ、カラー8ページの冊子が完成した。写真やイラスト、人物紹介、イベントの写真グラフ、施設の歴史、園芸や古



編集委員の(左から)大坪早苗さん、佐藤香奈美さん、内村編集長、下山玲子さん

平成12年6月8日
「函館新聞」紙上で

信も送られており、入所者の近況を家族へ伝える役割も果たす。発行は年2回の予定で、入所者の家族へは郵便で届け、施設内でも販促も進められている。

編集長の内村康彦氏は「歴史の消費と大変な面も多いが、親しみやすい冊子も送りたい」と越前施設長は「家族が入所者の様子を知りやすい手だ」と今後決意を固めている。

【下山秀徳】

編集後記

この度、「共働通信第2号」の発行となりました。未だに不慣れな編集作業に戸惑い、悩む事も多いのですが、皆様に施設をより身近に感じて頂けるよう編集委員一同、さらに紙面の充実を図って行きたいと思っております。今後ともよろしくご協力をお願いいたします。

尚、恐縮の至りですが、先般、編集委員会は「函館新聞」さんの突撃取材を受け、「共働通信」を6月8日付の紙面にてご紹介して頂きました。身の引き締まる思いとは正にこの事です。(編集長 内村康彦)

通信欄

発行/
社会福祉法人函館共働宿泊所
函館共働宿泊所救護部
発行責任者/越前典洋

編集/
広報誌編集委員会
編集責任者/内村康彦

函館市東畑町158-2
電話(0138)58-4040